

科目名	日本語の表現	
担当者	安本 真弓 / YASUMOTO, Mayumi	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	言葉で「表現」することによって、私たちは自己を表現し、他者やこの世界の出来事を理解している。だが、「表現」の仕方には多くの方法がある。そこで、身の回りにあふれている日本語の表現方法を探り、実際の表現方法の特徴を見出す分析力を養うことをめざす。また、実際に表現活動を行い、表現力を磨いていく。
	到達目標	1. 手紙やビジネス文書など、実用文が書けるようになる。 2. 様々な文章表現の特徴を理解し、自己表現の手だての一つとして会得することができるようになる。 3. 様々な音声表現の特徴を理解し、実践できるようになる。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 文章を書く上での基本的ルール (3) 小論文・レポートの書き方① (4) 小論文・レポートの書き方② (5) 小論文・レポートの書き方③ (6) 小論文・レポートの書き方④ (7) 手紙の書き方① (8) 手紙の書き方② (9) ビジネス文書の書き方① (10) ビジネス文書の書き方② (11) ビジネス文書の書き方③ (12) 敬語表現① (13) 敬語表現② (14) ビジネス会話 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・「参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリントを用いる。 【参】長谷川泉『国語表現ハンドブック 新訂版』明治書院、2000年、ISBN 4625200040 【参】大本泉他編『日本語表現—演習と発展— 改訂版』明治書院、2011年、ISBN 4625704081	
成績評価方法と基準	<基準>文章表現の特徴を理解し、実用文・小論文などを書くことができ、また、音声表現の特徴を理解・実践できれば、合格とする。 <方法>各種レポート90%、受講態度10% ただし、レポート類をすべて提出することを単位取得の条件とする。	
備考		